



連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局

Tel 090-4825-7174 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>

Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 411 号

(創刊 1988 .12.14)

2023.12.03.

桂台トンネル沿線の皆様

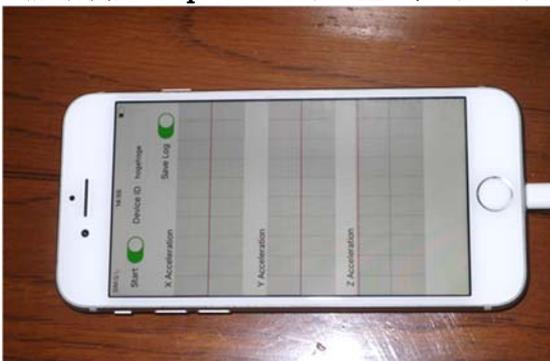
桂台トンネル下り線のシールドマシンは回転立坑から 115m掘進し、桂台第4公園角に差し掛かっています。現在後続台車を接続中で、年明けから本掘進が始まる見込みです。

本掘進が始まれば上り線掘進時と同様の騒音・振動が発生する恐れがあります。NEXCO 東は騒音・振動が感じられる場合は一時的な滞在場所を提供すると発表していますので、我慢せず現場事務所あるいはNEXCO 東へ申し出てください。

更に心配なのが超近接施工による地盤沈下です。上り線掘進の際に緩んだ砂質土が下り線のシールドマシンに余分に取り込まれると地盤沈下を引き起こします。是非今のうちに、塀やポーチなどの外回りや建物基礎の写真を撮影して、万一に備えることをお勧めします。

シールドマシン通過時の騒音・振動を記録することは避難場所の提供を要求する際にも、後日外回りの異常を事業者へ訴える際にも有効です。連協では携帯電話タイプの振動計を3台用意していますので気軽にご利用ください。ご協力頂ける方は大橋(893-1480)までご連絡ください。

(振動測定は iPhone を床の上に置くだけ)



(副会長 大橋 宏)

連協環境部の活動

緑豊かで毎朝野鳥のさえずりで目覚めるこの地を終の住みかとして移住した我々にとって、横浜環状道路(圏央道)の計画を知ったときは大きな衝撃でした。

この静かな住宅地に上下6車線の高速道路とそれへのアクセス道路上郷公田線が建設されるというのです。完成供与された場合我々住民の環境はどのように変化することが予測されるのか、大気汚染、騒音。住宅地内の交通量増加等は避けられないと思い、沿線16自治会で結成された道路建設反対を訴えて設立された連協の中の環境部は現状の可視化と数値化を記録してきました。

各地区の交通量の調査では各主要ポイントでの断面交通量、進行方向を24時間記録しました。延べ百数人の動員で得た当時の値に対して、現在の各ポイントの値を見ると約1.5倍になっております。

また騒音調査では公田インター予定地にバイクを集結して騒音を発生させ、各地の騒音測定をしました。また公田谷戸底部での接地逆転現象の発生を観測するために、グリーンテラスの各階に温度計を設置して一年間計測し、その時季と期間を記録しました。又、自衛隊施設で接地逆転層の起こるジオラマを見学し、公田の谷戸部で発生が予測され、NO₂の停滞が懸念されることを知りました。

環境部は1993年以来、喘息の原因と目されるNO₂の測定を続けておりますが、最近では地球温暖化防止のために化石燃料の使用抑制が進められており、今後NO₂の発生は減少していくものと思いますが、測定は続けてまいります。

(連協環境部 鈴木伸之)

進展しない脱硝装置設置 公田換気所から多量のNOx！

場所	トンネル 長 m	排出量 割合 %	総排出量 g/年
笠間町 坑口	350	18.0	3,011,250
笠間 換気所	2,445	14.0	2,342,205
公田 換気所	5,425	30.1	5,047,585
釜利谷 開口部	2,880	37.9	6,361,220
合計	11,100	100.0	16,762,260

2020年10月20日に横浜環状南線連絡協議会と国土交通省、NEXCO 東(株)、横浜市道路局との質問・回答会議の中で、NEXCO 東の工務課長から1日のNOx排出量が示されました。

1日の排出量から1年間のNOx排出量を計算すると上記資料の様に、驚くべき量であることが分かりました。

近隣の小・中学校・介護施設・保育園・住宅等に隣接する換気所と坑口・開口部から約16,762kg/年ものNOxが排出され、栄区に降り注ぎます。NOx中のNO₂の量は示されていませんが、電気集塵機では人体に有害なNO₂は除去できないので、これを除去するには是非とも低濃度脱硝装置が必要です。

環状南線1994年環境アセスメントについて当時の環境庁長官の付帯意見として、「本事業の実施にあたっては、建設省における低濃度脱硝技術の具体化に向けた取組みの成果を踏まえ、換気塔における脱硝装置等汚染物質の除去装置の導入を図る」となっています。

横浜環状北線は首都高速道路公団が建設し、3箇所の換気所に低濃度脱硝装置を設置し、2018年5月の資料ではNO₂90%以上、SPM80%以上の除去をしていることが分かりました。

しかし、NEXCO 東(株)では管轄する高速道路の換気塔に低濃度脱硝装置を設置した実績がないことがNEXCO 東(株)と私たちとの話し合いで分かりました。

現在、住民への説明として「換気塔から出るNO₂の濃度は環境基準値内であるので脱硝装置は検討中である」と言い続けています。いったいどのような検討がおこなわれているか追及していく必要があります。

2019年1月31付の栄区連合町内会会長提出の請願書「高速横浜環状南線の環境対策について」の請願項目で「脱硝装置等、環境に配慮した取り組みについて国及び東日本高速道路株式会社に働きかけること」が横浜市会全会派一致で採択されています。

市長はこれに基づき国に対して設置要請を提出していますが、国交省は毎年検討中であるとの回答です。因みに横環西、北西線については設置済です。

私たち地域住民は地域の「現在の環境基準値を超えない」よう強く要望しています。未来の子どもたちのため、この地域に住む人たちのために、低濃度脱硝装置の設置を要望します。(連協会員 金子和男)

公共事業改革市民会議 外環見学

横環南と同じシールドマシンによる工事により数多くのトラブルを周辺住民に巻き起こしていることはこの連協道路ニュースでも何度も報告しました。

この度公共事業チェック議員の会を動かし国の責任として法改正を含めた対策を講じるべし、と議員による見学会を9月14日に実施しました。

聞くだけでは理解できない現地の状況を住民の説明を聞きながらの見学でした。陥没した場所と3か所に空洞を造ってしまった場所を含め延長220mに及び、地盤改良工事と称して地表部30軒の住宅を取り壊している現場は見るに堪えないものでした。(比留間)

対外活動報告

- 11/10 低周波定例会 (zoom 会長)
- 11/13 トラスト打合せ (桂町 会長)
- 11/17 低周波定例会 (zoom 会長)
- 11/24 高瀬司法書士 (会長)
- 11/27 高瀬司法書士 (会長)
- 11/29 公共事業改革市民会議
外環見学会 (会長)
- 11/30 NEXCO 説明会 (庄戸会館)
- 12/01 低周波定例会 (zoom 会長)